

岐阜薬科大学で研究された「沈香葉」が、日経ヘルスで特集されました

# 沈香葉

岐阜薬科大学  
アピ株式会社  
科学技術振興機構(JST)  
産・官・学連携研究を重ね、  
特許を取得した機能性成素材

沈香葉の緩下作用は  
岐阜薬科大学での  
研究成果をもとに、  
2013年に特許を取得している



「自律神経」で不調を解決!  
もっと健康に、もっと美しく  
**日経ヘルス**  
**Idea**

もう、むくまない。太らない。  
特別付録 **リンパストレッチ** BOOK  
極厚68ページ

2016 December 12  
特別定価680円

いつでもどこでも  
「自律神経」を  
簡単セルフケア  
体も心もハッピーに♪

背骨をねじるだけ!  
便秘・肩こり解消  
「自律神経ヨガ」  
疲れ・だるさが消え、体が軽く!  
不調別「爪ツボもみ」  
目の疲れ、首こりを解消する  
あたためタオルで  
「目&首」疲れとり  
自律神経の切り替えがカギ  
脂肪を燃やす&眠れる食品とは?

疲れ、だるさ、不眠、  
頭痛、イライラ、便秘、冷え…

自律神経チームの立役者  
小林弘幸教授が薦める  
「自律神経を整える  
腸活のポイント」

**「自律神経」ケアで  
女性の悩みすべて解決!**

日経ヘルス 2016年12月号

## 便秘薬とここが違う! 沈香葉のすごいPOINT 5

### POINT 4 古くから重宝された

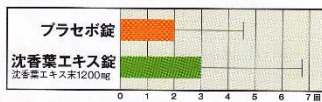
古くは日本書紀にも記される沈香。淡路島に漂着し、朝廷に献上された香木を「沈香木」と同定したのは聖徳太子といわれている。また、沈香木は「蘭麝待(らんじゃたい)」として東大寺正倉院に納められ、足利義満や織田信長などの天下人その一部を切り取り愛でたという。



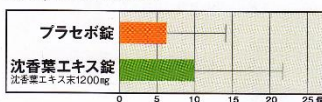
### POINT 5 便通の改善・変化量



排便回数(変化量/2週間)



排便量(変化量/2週間)



便秘傾向の成人男女を対象とした「沈香葉エキス末」を2週間連続摂取する実験では、排便回数・排便量ともに有意な改善結果が得られ、便通の改善作用が認められた。

被験者: 20歳以上65歳未満の2週間の排便回数が10回以下の便秘傾向者64名 (男性16名、女性48名) 摂取期間: 14日間  
 項目: プラセボ錠 沈香葉エキス(ゲンクワンニ配糖体として)を含む食品  
 沈香葉エキス錠 沈香葉エキス(ゲンクワンニ配糖体として)を含む食品  
 注: 報酬は排便回数、排便量の変化量(週/2週間) 平均値±標準偏差  
 プラセボ錠と沈香葉エキス錠の間に有意差あり(\*p<0.05 \*\*p<0.01 \*\*\*p<0.001)  
 機能性同成分「沈香葉エキス(ゲンクワンニ配糖体として)」による試験結果  
 沈香葉エキス末1200mg4「沈香葉エキス(ゲンクワンニ配糖体として)」2.3mgに相当  
 出典: Jpn Pharmacol Ther(薬理と治療) vol.43 no.2(2015)

### POINT 1 上質で非常に希少な成分



沈香の香りの正体は、沈香木の樹脂。高価で希少な樹脂を採取するために、沈香木の栽培には1本ごとに徹底した品種管理を要する。「沈香葉エキス末」に使われる葉も、原産地タイの契約農家で8年以上かけて無農薬栽培された沈香木から採取されている。

### POINT 2 女性にうれしい様々なメリット

- 自然に便秘改善
- デトックス効果
- 他にも…  
 抗酸化作用  
 抗肥満作用  
 悪玉菌の生育阻害 など

「沈香葉エキス末」は、小腸のぜん動運動を活性化させることで自然な便通を促進。下痢や腹痛などの副作用が極めて少ないのも特長だ。また悪玉菌の増殖を抑える一方で善玉菌には作用せず、腸内環境を健やかに整えてくれる。

### POINT 3 産・官・学で4年の研究を重ね特許を取得

「沈香葉エキス末」は、科学技術振興機構(JST)より委託開発課題として採択され、岐阜薬科大学の研究成果をもとに、アビが4年をかけて開発に成功。緩下剤としての特許も取得している。



# 便秘でお困りの方に「沈香葉」は悩める女子の救世主!

便秘は治したいけれど、薬に頼るのは嫌。そんな自然派女子の悩みを解消するのが「沈香葉エキス末」だ。穏やかな便通改善作用をもたらすと話題の新素材に注目!



沈香葉

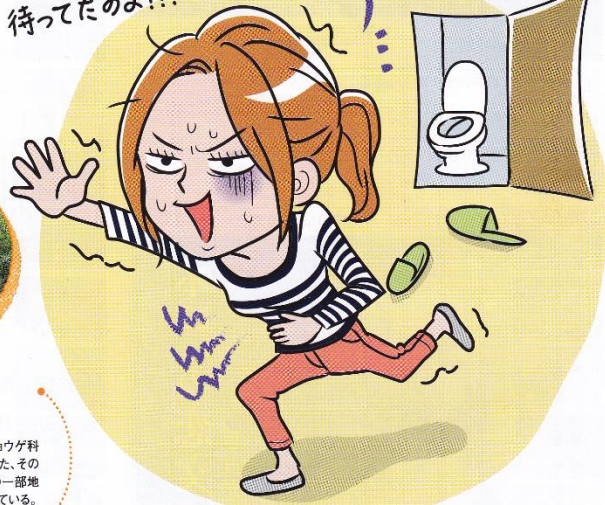


沈香木



タイ沈香木農林組合のシンボルマーク

で、出ない…  
 こういふの  
 待ってたのよ!!!



### 沈香葉とは…

沈香は、東南アジアから中東に自生するジンチョウゲ科の植物で、古くから香木として珍重されてきた。また、その葉には健康増進作用があるとされ、東南アジアの一部地域では健康茶としても飲まれていたことが伝わっている。

特許 第5187802号  
 ゲンクワンニについて